

平成 30 年

安全功労者内閣総理大臣表彰

平成 30 年 7 月 1 日

内閣府大臣官房総務課

平成30年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

(交通安全関係)

[個人]

上杉	義明	(内閣府)
大久保	榮志	(警察庁)
清岡	幸子	(内閣府)
佐藤	勝海	(国土交通省)
谷口	喜好	(警察庁)
西原	憲昭	(警察庁)
前田	憲男	(警察庁)
山田	修	(警察庁)

[団体]

東根市交通安全母の会連合会	(内閣府)
福井市交通指導員会	(内閣府)

(学校安全関係)

[団体]

愛知県清須市立西枇杷島中学校	(文部科学省)
青森県青森市立新城中央小学校	(文部科学省)
愛媛県伊予市立伊予小学校	(文部科学省)
大阪府立茨木西高等学校	(文部科学省)
富山県小矢部市立石動小学校	(文部科学省)
北海道根室高等学校	(文部科学省)

(産業安全関係)

〔個人〕

越	光	男	(経済産業省)
今	田	徹	(厚生労働省)
見	上	攻	(経済産業省)

(火災予防関係)

〔個人〕

酒	井	英	彦	(消防庁)
西	村		智	(消防庁)
橋	本	弘	子	(消防庁)
村	上	正	子	(消防庁)

〔団体〕

一般財団法人福岡県消防設備安全協会	(消防庁)
加賀市女性防火クラブ連絡協議会	(消防庁)

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	うえすぎ よしあき 上 杉 義 明
住 所	京都府京都市下京区
職 業 等	自営業（寝具製造卸業） (前；下京地域交通安全活動推進委員協議会会長)
功 績 の 概 要	昭和44年から長期にわたり、交通安全活動推進委員協議会会長等として小・中学校の通学時の交通安全誘導や街頭指導を行い、子どもを対象とした自転車教室や高齢者を対象とした反射材体験教室を開催するとともに、交通安全運動時の街頭指導や安全パトロールに取り組むほか、地域行事における交通整理誘導を行うなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	おおくぼ えいし 大久保 榮 志
住 所	宮城県登米市
職 業 等	農 業 (元；宮城県交通安全協会理事)
功 績 の 概 要	昭和42年4月、旧登米郡南方町において交通安全指導隊に入隊して以来、交通安全の重要性を深く認識し、地域の安全・安心な日常生活を確保するため、長年にわたり協会の運営及び交通安全思想の普及啓発に専心取り組み、地域住民の交通安全意識高揚を促すとともに、交通事故抑止活動を推進するなどの活動が顕著であったものである。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	きよおか ゆきこ 清 岡 幸 子
住 所	和歌山県新宮市
職 業 等	土木建設業（株式会社清岡組取締役） （和歌山県交通指導員会連絡協議会会長）
功 績 の 概 要	<p>昭和54年から長期にわたり、自主的に通学・通勤路での街頭指導に取り組んでおり、昭和58年7月から新宮市交通指導員として特に学童の交通安全思想の普及に尽力し、市内の全保育所、幼稚園、小学校において交通安全教室を毎年実施している。</p> <p>平成27年6月に和歌山県交通指導員会連絡協議会会長に就任し、県が取り組む交通安全行事等に率先して参画するなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
氏 名	さとう かつみ 佐 藤 勝 海
住 所	静岡県熱海市
職 業 等	会社役員（株式会社熱海ヨットクラブ代表取締役） （主任海上安全指導員・静岡県水難救済会副会長）
功 績 の 概 要	<p>昭和49年8月16日、海上安全指導員に指名されて以来、現在に至るまでの約43年間の長きにわたり、ボランティアとしてプレジャーボート等の小型船舶を中心に安全指導を行うとともに、海難防止講習会など事故防止に係る教育にも積極的に参画し安全で秩序ある海洋レクリエーションの発展に寄与してきた。</p> <p>また、平成4年に主任海上安全指導員に指名されて以来、現在に至るまで豊富な経験と知識及び指導力をもって海難防止活動を積極的に推進し、小型船舶の海難防止思想の普及に努めるとともに、後進の育成にも多大なる貢献を果たしてきたものである。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	たにぐち きよし 谷 口 喜 好
住 所	大阪府岸和田市
職 業 等	無職 (優良運転者)
功 績 の 概 要	昭和40年に運転免許を取得して以来、自動車運転者として他の模範となるべく交通法規を遵守し、その後、昭和44年から48年の永きにわたって安全運転に努め、無事故・無違反を貫いており、その功労は多大である。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	にしはら のりあき 西 原 憲 昭
住 所	佐賀県佐賀市
職 業 等	無職 (佐賀北地区交通安全協会会長)
功 績 の 概 要	昭和47年から46年の長期にわたり、家業である硝子工務店を営む傍ら、通学路における交通立番に努めるほか、佐賀地区交通安全協会の理事として、地域住民に交通事故防止を呼び掛けるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	まえだ のりお 前 田 憲 男
住 所	北海道檜山郡江差町
職 業 等	会社役員（株式会社前田組代表取締役社長） （北海道安全運転管理者協会理事）
功 績 の 概 要	昭和59年4月に自社の安全運転管理者に就任後、34年余の長期にわたり江差地区安全運転管理者協会の発展に貢献するとともに、江差地区安全運転管理者事業主会、江差地区交通安全協会等の他の関係機関とも積極的に連携しながら自ら交通安全活動の牽引役として活動し、江差管内の交通事故防止や交通安全思想の普及、高揚のために多大な尽力をされており、住民からの信頼は厚く、その功績は顕著である。

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	警 察 庁
氏 名	やまだ おさむ 山 田 修
住 所	東京都東村山市
職 業 等	不動産・寝具店経営 (東京都交通安全協会理事)
功 績 の 概 要	<p>昭和49年東村山交通安全協会に入会以来、子供や高齢者に対する交通安全教育や保護誘導活動に加え、通学路における登下校時の交通誘導等、多岐にわたり地域の交通安全運動に尽力しており、東村山交通安全協会会長、地区連合会長を歴任する中で、組織運営にも真摯に取り組み、将来を見据えた組織拡充、後進の指導、連合会傘下の各部会と緊密な連携を図りながら、地区連合会会長として地域の交通安全を第一に旗艦的精神のもと活動している功績は、誠に顕著である。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	<small>ひがしねしこうつうあんぜんはは かいれんごうかい</small> 東根市交通安全母の会連合会
所 在 地	山形県東根市
代 表 者	<small>せいの やすこ</small> 会長 清 野 安 子
功 績 の 概 要	<p>昭和41年4月1日に設立されて以来52年目を迎え、「交通安全は家庭から」を合言葉に、街頭指導や高齢者・子育て世帯への訪問など多岐にわたる活動を積極的に展開し、交通事故防止に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔交通安全関係〕

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	ふくいし こうつうしどういんかい 福井市交通指導員会
所 在 地	福井県福井市
代 表 者	えがわ まさひろ 会長 江 川 政 博
功 績 の 概 要	<p>昭和51年の発足から、福井市の交通安全活動の中核的な団体として、継続的な街頭活動を始め、幼児・高齢者に対する交通安全教室の開催、地域の大規模イベント等で保護誘導活動など、地域住民に対する交通事故防止および交通安全意識の高揚に多大な貢献をしている。</p> <p>また、他の市町の交通指導員に働きかけ、主要幹線道路においての一斉街頭啓発活動を企画・実施するなど、県内の交通指導員会の中でも特に交通事故防止活動に力を注いでいる。その他、新会員研修会、技術向上研修会、講習会等により会員の交通指導技術の向上に努めている。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	<p style="text-align: center;">あいちけんきよすしりつにしびわじまちゅうがっこう</p> <p style="text-align: center;">愛知県清須市立西枇杷島中学校</p>
所 在 地	愛知県清須市
代 表 者	<p style="text-align: center;">あまの こうじ</p> <p style="text-align: center;">校長 天 埜 幸 治</p>
功 績 の 概 要	<p>「自他の生命を尊重し、安全な行動ができる生徒の育成」をテーマに安心・安全な学校づくりを推進している。東海豪雨での被災経験から、地域の方と一緒に大型紙芝居の作成・実演、水防かるたの作成など東海豪雨を語りつぐ取組の実施、避難所開設を想定した防災訓練の実施など、自然災害への関心を高め、災害時に主体的な行動ができる生徒の育成に力を入れ、また、地域との訓練に参加し、災害時に自他の生命を尊重した行動をとれるよう、人とのかかわり方を身に付けさせることにも積極的に取り組んでいる。</p> <p>これらの取組について、家庭や関係機関との連携を継続的に行うことで、地域に貢献する人づくりを目指しており、安全教育の推進に寄与している。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	あおもりけんあおもりしりつしんじょうちゅうおうしょうがっこう 青森県青森市立新城中央小学校
所 在 地	青森県青森市
代 表 者	ふくはら まさと 校長 福 原 正 人
功 績 の 概 要	<p>教育目標「たくましい子」の下、「みんなが安心していっぱい勉強できる絆のある学校」を目指している。安全教育では、「自ら考え正しく判断し、行動に結び付ける態度・能力」の育成を重視し、各教科や行事との関連を図るための題材配列表の作成と題材配列表を活用した意図的・計画的な安全教育の実施、具体的な場面を想定した実践型の各種避難訓練、関係機関等と連携した安全教室の実施、保護者や地域住民との連携・協働による『交通安全・防犯の街づくり』などを行うことにより、安全教育の推進に寄与している。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	えひめけん いよ しりつ いよ しょうがっこう 愛媛県伊予市立伊予小学校
所 在 地	愛媛県伊予市
代 表 者	ふるた あきら 校長 古 田 章
功 績 の 概 要	<p>教育目標「よく学び よく考え よく行う伊予っ子の育成」の下、地域と連携した安心・安全な学校づくりを目指し、伊予小中学校区関係者による児童生徒をまもり育てる協議会や、伊予小中学校PTA校外指導部員による小中合同校外指導部会、危険箇所への赤旗設置、通学路点検、登下校指導等を実施している。校内でも、校内生徒指導部会を実施したり、職員会や職員朝礼等、機会を捉えて児童の安全面について気付いたことを報告したりするなど、迅速に対応する仕組みを整えている。また、月1回の安全点検で校内の施設設備の安全状況を把握するとともに、危険箇所の早期発見・早期対応に努めるなど、地域と学校が一体となり、安全教育の推進に成果を上げている。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	<p style="text-align: center;">おおさかふりついでばらきにしようがっこう</p> <p style="text-align: center;">大阪府立茨木西高等学校</p>
所 在 地	大阪府茨木市
代 表 者	<p style="text-align: center;">なかやま てつや</p> <p style="text-align: center;">校長 中山 哲 也</p>
功 績 の 概 要	<p>「自ら気づく人を育てる」を学校教育目標に掲げ「茨西プライド」の下、生徒の志をカタチにするため、家庭と地域を巻き込んだ教育活動を展開している。</p> <p>生徒が被害者にも加害者にもならないよう交通安全教育を推進し、新入生オリエンテーションにおける交通安全教育を実施することで入学後早期に生徒の危機管理能力の育成を図り、成果を上げている。また、学校・家庭・地域住民・地元警察・行政・近隣高校との連携による通学安全指導の実施、入学時に配布する「茨西ガイド」への安全な通学経路の掲載や『通学安全MAP』の家庭利用を促すことにより保護者との情報共有を図るなど、家庭や地域、関係機関と連携した交通安全教育で成果を上げている。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	とやまけんおやべしりつ いすぎしょうがっこう 富山県小矢部市立石動小学校
所 在 地	富山県小矢部市
代 表 者	ささじま やすよ 校長 笹 島 康 代
功 績 の 概 要	<p>教育目標「自ら学び、共にたくましく生きる心豊かな子どもを育てる」の下、自他の命を尊重し、身近に起きる危険を予測判断して、安全に行動しようとする子どもの育成を目指して、PTAや地域、関係機関と連携を図りながら全教育活動を通じた安全教育を行った。</p> <p>また、防災アドバイザーの助言を生かし、地滑りによる2次避難や児童引き渡しといった実践的な避難訓練を関係機関や保護者と連携して実施するとともに、「こども砂防教室」で地滑りについて学ぶ機会を設け、児童の安全に係る判断力や行動力を高めている。</p> <p>PTAによる通学路点検、自転車教室、安全パトロール隊による見守り活動、警察署の協力を得た交通安全教室、不審者対応訓練、人権擁護委員の事業としてのネット安全教室の開催等、子供の安全を見守る家庭や地域、関係機関のネットワークづくりを進め、学校安全の推進に寄与している。</p>

功 績 概 要

〔学校安全関係〕

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
名 称	ほっかいどうねむろこうとうがっこう 北海道根室高等学校
所 在 地	北海道根室市
代 表 者	からかわ のりゆき 校長 唐 川 智 幸
功 績 の 概 要	<p>教育目標「高い志をもち、地域や国際社会の未来を切り拓く人間の育成」の下、社会性をもち、責任を重んずるとともに、生命を尊重し、健全な心身をもつ人間の育成と地域を支える防災リーダーの育成を目指し、生徒が主体となって自治体である根室市や防災関係機関と協力し「高校生防災会議」、「幼稚園の防災教室」、「地元ラジオ局への出演」、「ベトナム研修生防災教室」、「根室市総合防災訓練への参加協力」のほか、根室消防本部職員や応急手当普及員資格取得教員による「防災教室」などを行うことにより、安全教育の推進に寄与している。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	経 済 産 業 省
氏 名	こし みつお 越 光 男
住 所	東京都板橋区
職 業 等	東京大学名誉教授 (元；産業構造審議会保安分科会高圧ガス小委員会委員)
功 績 の 概 要	<p>燃焼化学分野等における高い見識を通し、産業構造審議会保安分科会高圧ガス小委員会委員等として、我が国の保安行政の在り方、重要事項の調査、審議、施策の推進等に尽力された。また、その専門的知見から産業事故の原因究明、再発防止策のとりまとめ、技術基準の策定等において指導的役割を果たすなど、高圧ガス保安の向上に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	厚 生 労 働 省
氏 名	こ ん だ とおる 今 田 徹
住 所	東京都文京区
職 業 等	東京都立大学名誉教授 (労働安全衛生法第89条及び労働安全衛生規則 第94条の規定に基づく審査委員会委員長)
功 績 の 概 要	<p>平成12年に、労働安全衛生法に基づく審査委員に就任し現在は会長を務めるなど18年の長期にわたり、大規模建設工事について審査を行い、建設業の労働災害防止に多大な貢献をした。</p> <p>また、平成24年2月の岡山県の海底トンネル建設工事の災害について、原因究明の作業方針に関して助言するとともに、シールドトンネル工事の安全対策の向上のための提言等を行った。</p>

功 績 概 要

〔産業安全関係〕

関 係 省 庁	経 済 産 業 省
氏 名	みかみ おさむ 見 上 攻
住 所	神奈川県藤沢市
職 業 等	一般社団法人日本火薬銃砲商組合連合会会長 (元；産業構造審議会保安分科会火薬小委員会委員)
功 績 の 概 要	<p>一般社団法人日本火薬銃砲商組合連合会の会長として、火薬類及び銃砲等に係る保安行政施策へ積極的に協力するとともに、豊富な知識と経験をもって保安教育等に尽力し、火薬類保安の重要事項を調査審議する産業構造審議会保安分科会火薬小委員会委員を務め、火薬類による災害事故の防止に大きく寄与、火薬類保安行政に対し多大な貢献をした。</p> <p>また、特に、廃棄物の海洋投棄による海洋汚染を防止することを目的とした「廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する条約」（「ロンドン条約」）の内容を強化する議定書の批准、発効に伴い生じた諸課題に対応するなど、多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	さかい ひでひこ 酒 井 英 彦
住 所	東京都中央区
職 業 等	会社役員（株式会社大新代表取締役社長） （日本橋危険物安全協会会長）
功 績 の 概 要	<p>昭和48年8月、日本橋危険物安全協会の理事として16年、平成6年4月に副会長、平成7年4月には会長に就任し、以来23年にわたり、危険物施設の火災予防や安全管理、また危険物に関する火災予防措置を研究する会の会長として、豊富な識見と卓越した指導力により、会の運営や会員相互の親睦に率先して敏腕を振り、会員事業所の危険物安全管理と取扱い技術指導に長年熱意を傾注し会の発展と地域の安全に幅広く貢献している。</p> <p>また、消防協働団体の会長として会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、消防・防災の指導者として活動し、事業所及び地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	にしむら さとし 西 村 智
住 所	北海道札幌市厚別区
職 業 等	自営業（有西村ビル代表取締役） （札幌防火管理者協会副会長）
功 績 の 概 要	昭和56年に札幌白石区防火管理者協議会に入会。平成5年4月、札幌厚別区防火管理者協議会理事に、また、平成10年4月には同協議会会長に就任するとともに、同年5月には札幌防火管理者協議会連合会の副会長に就任し、以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽くしている。平成28年5月には組織再編にともない新たに発足した札幌防火管理者協会副会長に就任し、更なる安全・安心なまちづくりに向け情熱を注がれている。また、地域住民の信頼も厚く、地域の安全・安心の普及・啓発に多大な貢献をしている。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	はしもと ひろこ 橋 本 弘 子
住 所	茨城県日立市
職 業 等	自営業（有）大甕運輸代表取締役） （茨城県婦人防火クラブ連絡協議会会長）
功 績 の 概 要	<p>平成4年、地元地域に大みかコミュニティ女性防火クラブを発足し初代会長を務める。平成12年4月、日立市女性防火クラブ連絡協議会の設立に貢献し初代会長に就任、また、平成11年4月から茨城県婦人防火クラブ連絡協議会の役員に就任され、今日までの長きにわたり、豊富な識見と卓越した指導力、積極的な行動力により会の育成発展に努めている。</p> <p>さらに、平成29年7月には茨城県婦人防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、併せて各種の消防防災関係団体の要職にも就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力している。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	むらかみ まさこ 村 上 正 子
住 所	愛媛県今治市
職 業 等	無職 (愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会会長)
功 績 の 概 要	<p>昭和59年、桜井校区婦人防火クラブ発足の発起人、また、初代会長として同クラブの設立・発展に寄与した。その熱心な指導・取り組み姿勢から、地域住民の信頼は厚い。</p> <p>昭和63年、今治市婦人防火クラブ連絡協議会設立に際し、設立メンバーとして副会長に就任。平成12年には会長に就任し、桜井校区をはじめ今治市全域に於いて、精力的に家庭防火・防災の普及・啓発を行うなど地域の安心・安全確保に多大の貢献をしている。</p> <p>平成12年から愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会理事、副会長を歴任、平成29年5月に会長に就任、豊富な経験と卓越した識見・指導力で、同会の育成発展に尽力している。</p> <p>愛媛県防災会議委員など各種団体の要職にも就いており、様々な機会を捉え防火・防災思想の普及・啓発に取り組んでいる。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	<small>いっばんざいだんほうじんふくおかけんしょうぼうせつびあんぜんきょうかい</small> 一般財団法人福岡県消防設備安全協会
所 在 地	福岡県福岡市中央区
代 表 者	<small>わ だ たてよし</small> 理事長 和田 健 義
功 績 の 概 要	<p>消防用設備等の設置及び維持管理を通じて建築物の防火安全を推進、火災予防とその被害を軽減、安心・安全な街作りに貢献し、社会公共の福祉増進への寄与を目的とし昭和49年の発足以来、約44年の長きにわたり福岡県内の火災予防の一翼を担う団体として多大な貢献をしている。県内8構成団体と緊密な連携を図り、構成団体の事業活動を通じ、消防用設備等の設置・維持の適正化、消防設備等関連業務に携わる消防設備士、消防設備点検資格者等の育成指導・資質の向上、防火対象物関係者の啓発、火災予防思想の普及、各種防災活動への参加等の事業を展開、県内のデパート、ホテル、病院、工場、事務所ビル等の防火対象物及び一般住宅の防火安全の徹底と地域住民に対する防火、防災意識の高揚に大きな役割を果たしている。</p>

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	かがし じょせいぼうか れんらくきょうぎかい 加賀市女性防火クラブ連絡協議会
所 在 地	石川県加賀市
代 表 者	くどう たえこ 会長 久 藤 妙 子
功 績 の 概 要	<p>加賀市女性防火クラブ連絡協議会は、昭和55年11月に市内全家庭における火災予防の推進を目的に加賀市婦人防火クラブが結成され、平成15年に加賀市女性防火クラブと名称を改め現在に至る。結成以来、「家庭の防火は女性の手で」をクラブのスローガンとして、女性の目線から初期消火技術の向上を図り、火災発生防止と地域火災の減少に努めている。</p> <p>また、住宅用火災警報器設置推進活動、高齢者宅への防火訪問並びに毎年幼稚園、保育園に対し防火広報巡回を行い、地域における防火思想の高揚に多大な貢献をしている。</p>

(連絡先)

内閣府大臣官房総務課管理室

〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1

TEL 03-5253-2111 (内31220)